

取引先とのコミュニケーション

公平・公正な取引

「取引先との関係は公平・公正でなければならず、取引上の優越的立場を利用して不公正な不利益は与えない」を基本としています。変化の激しい事業環境の中で、企業として持続的に成長していくためにサプライチェーンの構築や社内外の人材育成が重要であると考えています。このため、取引先の皆さまと協調し、相互に事業の発展に結びつくよう取り組んでいます。

人材育成の取り組み

取引先へ井関の人材育成施設での研修や勉強会の機会を提供し、技能・知識の向上、販売・技術サービス力の向上を図っています。グループの人的資産を有効活用し、取引先の皆さまとともに様々な能力開発に取り組んでいます。研修のひとつとして特約店後継者育成研修を実施しており、第34期生が2018年3月に1年間の研修を終了しました。

また、購買関係者のレベルアップのため、調達先企業より商品の特徴や性能について研修を実施いただく等、相互に研鑽を図っています。

下請法規順守に対する取り組み

グループ各社にシステムを用いた牽制や監査によるモニタリング等、チェックと監視を定着化させています。

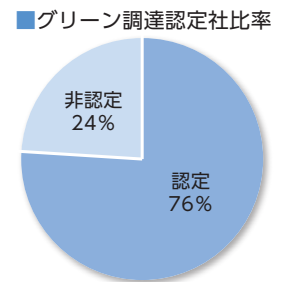
また、下請法規に関する継続的な教育も行っています。

協力企業IR他の取り組み

国内製造所協力企業向けにIR説明会を実施し、経営の状況や経営方針等について経営層より説明および対話を行っています。優良事例や最新の取り組みを視察する優良企業見学会を実施しているほか、調達先監査・経営サポートの実施等、ともに事業発展・成長できるよう取り組みを行っています。

グリーン調達の推進

環境保全活動においては、取引先との協働は不可欠です。「グリーン調達ガイドライン」にてご理解とご協力をお願いし、環境への取り組みが優れている取引先を「グリーン調達認定社」としています。



[グリーン調達ガイドラインはこちら](#)

CSR調達の推進

サプライチェーン全体で社会的責任を実現するため、井関グループの特長を生かしたCSR調達を推進しています。「井関グループのCSR調達ガイドライン」を制定し、お取引先の皆さまにご指導とご支援、ご協力をいただきながら、ともに持続可能な成長と企業価値の向上を目指し、CSR調達に取り組んでいきます。

井関グループのCSR調達ガイドライン（抜粋）

「井関グループのCSR調達ガイドライン」は、「井関グループのCSR」、「CSR調達方針」、「CSR調達ガイドライン」からなります。

- [1] 井関グループのCSR
 - ・井関グループのCSR（社会的責任）の基本的な考え方
- [2] CSR調達方針
 - ・井関グループが調達活動にあたり順守し、CSR調達を推進するための方針
- [3] CSR調達ガイドライン
 - 1.顧客満足・品質保証
 - 2.法令順守・倫理的企業活動
 - 3.人権の尊重・健康的で安全な職場形成
 - 4.環境保全・グリーン調達
 - 5.地域社会との共生・国際協調
 - 6.経営の透明性と説明責任

井関グループ CSR 調達ガイドライン

2018 年 12 月 1 日

井関農機株式会社



<はじめに>

井関グループでは、農業機械を通して「豊かで持続可能な社会の実現へ貢献する」ことを目指し企業の社会的責任(CSR:Corporate Social Responsibility)への取り組みを推進しております。

1926年の創立以来、創業者井関邦三郎の「農家を過酷な労働から解放したい」「需要家に喜ばれる製品を」という想い・理念を原点に、農業機械総合専門メーカーとして、わが国農業の近代化に努めてまいりました。今後、世界人口の増加と食料問題、食料自給率や国土保全、地球環境問題等を考えると、農業の果たす役割は大きく、農業機械メーカーの社会的使命はますます重要になると考えています。

この度、お取引先さまとともにサプライチェーン全体で社会的責任を実現するため、近年の動向や国際社会の要請をも鑑み、「CSR調達ガイドライン」を制定いたしました。井関グループは、お取引先さまとともに持続可能な成長と企業価値の向上を目指し、CSR調達に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

また、井関グループのCSR活動はスタートしたばかりです。お取引先の皆さまにもご指導とご支援、ご協力をいただきながら、井関グループの特長を生かしたCSR調達を推進させていただければ幸いです。

【CSR 調達ガイドラインの構成と位置づけ】

本ガイドラインは、「井関グループのCSR」、「CSR 調達方針」、「CSR 調達ガイドライン」で構成されています。

[1]井関グループのCSR

- ・井関グループのCSR(社会的責任)の基本的な考え方についてお示ししています。

[2]CSR 調達方針

- ・井関グループが調達活動にあたり順守し、CSR 調達を推進するための方針です。

[3]CSR 調達ガイドライン

- ・お取引先さまとともにCSR 調達を推進するための基本的な事項。お取引先さまにもご理解いただきたい事項です。

[1]井関グループのCSR

1. 豊かで、持続可能な社会の実現へ貢献してまいります。
 - ・日本ならびに世界の農業に貢献する
 - ・循環型社会形成に貢献する
2. 事業を通じて社会課題を解決するとともに、企業価値向上を図ってまいります。
 - ・国内、海外市場で確固たる地位を築く
 - ・人づくり(人材育成と多様な人材の活用)を推進する

■経営理念とCSRの基本的な考え方

<井関の精神 ～創業者の理念～>

“農家を過酷な労働から解放したい”

創業者井関邦三郎は、手作業や畜力を用いた過酷な農作業を機械化を通して省力化し、農業の更なる発展に努めました。

お客さまに喜ばれる商品を提供することにこだわり続けた創業者の想いは、今もなお「井関の精神」として連綿と受け継がれています。

<社是>

当社は

1. 需要家には喜ばれる製品を
 2. 従業員には安定した職場を
 3. 株主には適正な配当を
- 経営理念としまして社会的使命を達成する

<井関グループ倫理行動規範>

社会の一員としての責任を果たし、社会と一体となった発展を目指すために、井関グループ全員が守るべき常識的かつ基本的な<基本理念>と、より具体的な<行動規範>から成る「井関グループ倫理行動規範」を定め、日々の活動の基本としています。

<基本理念>

1. 法令を順守する
2. 基本的人権を尊重する
3. 社会的良識を尊重する
4. 情報を適切に開示し、社会的説明責任を果たす
5. 環境保全に努める

〔2〕 CSR 調達方針

井関グループは、環境・社会に配慮した資材調達及び製品・サービスの提供の優先的な実施を目的に、お取引先さまとともにCSR調達に取り組み、社会から信頼される企業を目指します。

1. 公正・公平な取引

すべてのお取引先さまと適正な「品質・コスト・納期」を基本とし、公平かつ公正な取引を行います。

2. 信頼関係構築と相互発展

「品質・コスト・納期」に加え先進性・技術力・経営安定性などを十分に勘案し、適正な評価基準に基づいた調達の実施により、信頼関係構築と相互の発展を目指します。

3. 法令順守

諸法規・社会規範とともに、井関グループの掲げる「倫理行動規範」を順守します。

4. グリーン調達

環境保全と循環型社会形成に貢献するため、別途定める「グリーン調達ガイドライン」に基づき、グリーン調達を推進します。

〔3〕 CSR調達ガイドライン

井関グループは、「井関グループ倫理行動規範」を定め、日々の活動の基本とし、倫理行動規範に基づく以下の事項によりCSR調達に取り組んでまいります。お取引先さまにおかれましても、ご理解くださいようお願いいたします。また、本内容もしくは貴社が持つ同様のガイドライン等を、貴社のお取引先さまとの共有をお願いいたします。

1. 顧客満足・品質保証

(1) 顧客満足

顧客満足 (CS) 向上活動を通じて、お客さまに満足していただける商品・サービスを提供する。

(2) 品質保証

品質には万全を尽くし、万が一品質に関する問題が発生した場合は、誠意をもって迅速に対応する。

2. 法令順守・倫理的企業活動

(1) 法令順守

業務に関連する法令を良く理解し、順守する。

(2) 適正な会計処理

法令・規則・原則及び社内規程にのっとり、常に適正な会計処理を行う。

(3) 知的財産権の尊重 各国・各地域の法令と国際ルールへの順守

知的財産(特許権や著作権など)の重要性を認識し、知的財産の蓄積及び保全に努めるとともに他者の知的財産権を尊重する。

(4) 企業機密の保全と管理

企業機密の管理は適切に行い、在職中、退職後にかかわらず社外にもらさない。

(5) 社会的良識の尊重

社会の一員として社会的良識にはずれた行動は行わない。

(6) 取引先との公正な関係

取引先との関係は公平・公正でなければならず、取引上の優越的地位を利用して不公正な不利益は与えない。

(7) 節度のある接待・贈答

社会的常識を超える接待・贈答の授受は行わない。

(8) 公私混同の禁止

職場の地位を利用して、私的な利益や便宜を受けない。

(9) 会社資産の適切な使用

会社の資産(設備、備品、情報システム等)は認められた目的にしか使用しない。

3. 人権の尊重・健康的で安全な職場形成

(1) 人権の尊重

基本的人権を尊重し、国籍・人種・信条・性別・障害の有無等を理由に差別や嫌がらせは行わない。

(2) ハラスメントの禁止

パワハラ、セクハラ等の行為をしない、させない。

(3) 健康的で安全な職場

健康的で安全、かつ働き甲斐のある職場作りを目指す。

(4) 個人情報の保護

個人情報の管理は適切に行い、もらさない。

4. 環境保全・グリーン調達

(1) 環境保全

「農業と農業機械」を経営の基軸として、環境に配慮した自然と調和のとれた企業活動を行う。

(2) グリーン調達の推進

持続可能な循環型社会の構築を目指すため、グリーン調達を推進する。「グリーン調達ガイドライン」参照

5. 地域社会との共生・国際協調

(1) 地域社会への貢献

社会の責任ある一員として、積極的に地域社会に貢献する。

(2) 国際協調

海外での業務に関しては、当該国・地域の法令・習慣及び文化を尊重し、現地社会に貢献する。

(3) 反社会的勢力・団体との絶縁

反社会的勢力・団体とは一切の関係を持たず、いかなる名目であれ、経済的利益・便宜・特典等の供与は行わない。

6. 経営の透明性と説明責任

(1) 情報開示

社会的説明責任の大切さを認識し、必要な情報の迅速で正確な開示に努め、透明性のある企業作りを心がける。

(2) インサイダー取引の禁止

インサイダー取引(未公開の重要な内部情報を利用した証券取引)規制に違反する行為は行わない。

< お願い事項 >

本CSR調達ガイドラインの記載事項やグリーン調達について、お取引先さまでの取り組み状況についてアンケート調査や電話・訪問によりおうかがいする場合がございます。何卒ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

以上